

ないしなあ」とか言つて絶対に買わないし、「たかが数時間のフライ特くらいで、狭いだの何だと四の五の言つて高い料金を払つて広い席に座るなんてカッコ悪いじやん」とか言つてエコノミークラスで満足しちゃつている。きっと私は生來の貧乏性で、元々贅沢なできない性分なのでしょう。

ところが最近流行りの『DIE WITH ZERO』という本を読んでみると、「死ぬときまでに貯金ゼロにする」というようなことが書いてあります。いくらお金を持っていても墓場までお金を持つて行くことはできないのだから、死ぬまでに全部使つてしまえというその考えには大いに共感するところではあるのですが、生來の貧乏性である私はできない。いつたい私のような者にとつてのお金の使い方の最適解というのはいつたいどこにあるのでしょうか？

先日、友人とキャンピングカーで四

国を旅している時に私は猛烈に暇だったものですから、車窓を流れる景色を見ながらそんなことをツラツラと考えていました。そこで私の導き出した答えというのは、自分にとっての豊かさというものを金銭的な尺度で計るのでなく、精神的な満足度という尺度で計つて決めればよいではないか、といふものの。「ああ、俺はなんてスバラシイ答えを見つけてしまったのだろうか」とその時にはご満悦だったのですが、いざ今度の夏にロサンゼルスにドジャースの試合を行こうとなつた時に、ビジネスクラスで行こうか、エコノミークラスで行こうか、また悩み始めてしまつたのです。

過去の経験からして、北米に行くときは100%時差ボケにかかります。結構タイトな日程でサンディエゴとロサンゼルスを周るので万全の体調で渡米したい。フライ特時間は10時間。そう考へると、どう考へてもフルフラットシ



Akira Saito

昭和40年生まれ。神奈川県出身。平成15年税理士登録(東京税理士会京橋支部)。齋藤明税理士事務所所長・日本税務会計学会経営部門常任委員・医療法人研水会監事。ブログは「波乗り税理士・波に乗れるか?」<http://blog.livedoor.jp/saiaki555/>

[近況] 平日の明日、天気予報は雨。それに、私は愛犬を連れてキャンプに行こうとしております。それは別にヤケクソになっている訳ではなく、前から行きたかったから。臆病な愛犬・太郎は、私と一緒に楽しんでくれるでしょうか？

ートのビジネスクラスで行くのが正解であることは疑う余地もありません。「よし、今回はビジネス一択だ」と思い予約サイトに行ってみると、エコノミークラスとの金額の差が片道約20万円。払えるけど…1時間あたり2万円? 気が付けばまた私はエコノミークラスのエアチケットを手にしていました。結局のところ、私は足るを知つてゐつもりになつてゐるだけのただの貧乏性だったという訳です。

過去の経験からして、北米に行くときは100%時差ボケにかかります。結構タイトな日程でサンディエゴとロサンゼルスを周るので万全の体調で渡米したい。フライ特時間は10時間。そう考へると、どう考へてもフルフラットシ